

## 第5回保科洋指揮法クリニック2023 レジューメ

指揮者は最も個人差のある演奏家、したがってこの講習会では保科の考える指揮者像をベースに進める。教育現場における指導者は、1) トレーナーとしての指導者、2) 音楽表現者としての指揮者という2つの役割を担う。

### 1) トレーナーとしての指導者 (指揮者)

- ・ピッチが合っているか
  - ・リズム (縦のタイミング) が合っているか
  - ・バランス (響きの精度) はどうか
- 要求される能力 = 音に関する耳の判断力 (バトンテクニックはあまり必要ではない)

### 2) 音楽表現者としての指揮者

- ・作曲者が意図した表情 (抑揚・質感 etc.) を楽譜から読み取る (感じる) 能力 (楽曲分析・演奏解釈)。
- ・それを手の動きで演奏者に伝える技術 (バトンテクニック) = 指揮法

本講習会では2) を習得することを目的とするが、演奏解釈とは正解がないもので、最も個人差が生じるもの、したがってその当否はここでは問わない。ただし、バトンテクニックには原則・基本があるので、その基本と応用について学ぶ。

### 初級クラス

バトンテクニックの基本の習得

#### ・予備運動

複数の演奏者に同時に音を出させるためには、そのタイミングを奏者に伝えなくてはならない。この動作を予備運動という。

#### ・打点

奏者が音を出すタイミングを打点という。

打点を軸に、打点に向かう動きを点前の動作、打点の後の動きを点後の動作、という。

点後の動作が次の拍の予備運動になる! = 指揮とは予備運動が連続した動作!

#### ・各拍子の図形

各拍子の図形と休符を含むリズムの振り方 (4拍子のリズムパターン表、参照)

休符の前の拍の点後の動作はなし (指揮棒を止める)!

(休符に予備運動は必要ない! むしろ弊害!)

- ・音を出すタイミングを感知できる動きとは「加速・減速」を伴う動き!

- ・タイミングをよりわかり易く表現するための基本 = 動作のコントラスト

動作のコントラストが最もわかり易く凝縮した考え方 = 音がない箇所は指揮棒を止める!

## 上級クラス

演奏解釈した内容を表現する（演奏解釈とは個人差が生じるのが必然なので、本講座では私の演奏解釈を表現することで統一する）。

- ・テンポ = 曲には必ずテンポがある。指揮者はそのテンポを奏者に伝えることで演奏はスタートするが、テンポとは不動のものではなく、原理的に揺れ動くもの！  
（旋律が高く低く、あるいは長く短く、変化しているのは、作曲者のエモーションが変動した軌跡！ 演奏とはそれに共感して、音のエネルギーを変動させて楽譜が示唆する抑揚を表現すること！  
音のエネルギーの変動は高さ大きさ（実は長さ！ 音符の長さ大きさは連動している）の変化で表されるのだから、エネルギーの変動に応じてテンポが微妙に揺らぐのは必然である（アゴーギク）！ その揺らぎ（と、その音楽的ニュアンス）を奏者が共有できるようにコントロール（表現）するのが指揮者の役割。
- ・演奏解釈 = 演奏解釈とは楽譜から作曲者の想いを感じとり、それを演奏者に伝えるために描く演奏の青写真で、指揮者の存在理由そのもの！ 演奏解釈こそが指揮者の命なので、そのバトンテクニックに個人差が生じるのは必然。したがって講習会で論じるには限界があるが、演奏解釈のポイントは以下の2点である。
  - 1) 「繰り返し」とその「変形」  
発するそばから消えてゆく音楽を聴き手に印象づけるための最も基本的な作曲技法とは、「繰り返し聴かせる」ということ！。  
  
「繰り返し」がない音楽は存在しない（存在できない）！ 楽曲とは作曲家が己の創意を聴き手に伝えるために、「繰り返し方」に工夫を凝らした結晶なので、「繰り返し方（含、変形）」に注目することが演奏解釈の出発点になる。
  - 2) 「音楽の三要素」の解釈  
音楽の三要素とは「旋律」「リズム」「和声」を指す。作曲家はこの三要素を駆使して作品を構築している。これらに対する印象は個人差が大きい。
    - 「旋律」  
作曲者のエモーションが変動してゆく軌跡。
    - 「リズム」  
作品の推進力（と、その変動）を担う。
    - 「和声」  
旋律の変動だけでは表現出来ない陰影や色彩感の表現。演奏に奥行きや深みを与える。ただし最も解釈に個人差が生じ易い分野。
- ・指揮者の演出力 = 指揮者も演奏者！ 他の楽器奏者と同様に練習が不可欠である。特に音楽的な指揮を目指す指揮者は、上記「繰り返し」のコントラストと「音楽の三要素」が作品に寄与する内容を感じとり、そのイメージを手（必要ならば体全体）の動作で表現すること、いわばパントマイム役者のような演出力が求められる。